



認定看護師への道



摂食・嚥下障害看護認定看護師

2010年取得

5階東病棟 奥田 美希さん

認定看護師を目指そうと思ったきっかけ

耳鼻咽喉科・甲状腺外科に在職中、患者さんが疾患を抱え自分らしく生きることの大切さに気が付き、その中でも食べること、話すことが生きるための糧となることを強く感じました。そこから、栄養管理や経口摂取、口腔機能維持に興味を持ち、摂食嚥下障害について深く学びたいと考えました

認定看護師として活動していること

他院在職中に認定看護師資格を取得し、2014年から当院に在職し活動しています。呼吸器内科・リウマチ科に配属し、部署スタッフに口腔ケアや経口摂取時の観察等の知識・技術の定着を図る他、院内全体の入院時摂食嚥下スクリーニングや摂食機能療法、その他嚥下や口腔に関するコンサルテーションに対応しています

認定看護師として大切にしていること

患者さんやご家族から「口がこんなにきれいになりました」「また食べられるようになりました」そんな言葉や笑顔は宝物です。また看護師からも、「以前に相談したことを看護に取り入れてみたら、こんな風に改善しました」という言葉を聞くとやりがいを感じます

すべての人が食べられる身体を整えることを心掛けています

食べるためには、口やのどを整えるだけでなく、体幹を保持し、腸管を整え、何よりも食べる意欲を導き出すことが重要です

これらのことをすべての人々と共有し、笑顔で取り組めるように頑張っています

今後も、院内全体で誤嚥兆候の早期発見や口腔スクリーニングを行い、

統一した介入が行えるよう活動を続けていきます

早期発見、早期介入により、早期改善に繋げることが目標です

将来的には「この病院に入院したらこんなに口の中がよくなった。家でも続けられると思う」と

笑顔で退院していただける病院を目指したいです



演習を通しての体験が重要です



医療補助員研修を通して、食事介助や口腔ケアを安全にできるよう指導しています